

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和4年度】

2023年 4月 25日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 106-0032
所在地 東京都港区六本木四丁目3番11号 六本木ユニハウス22
3号

評価機関名 サポート・ネット株式会社

認証評価機関番号 機構 13 - 220

電話番号 03-5655-0851
代表者氏名 三田村 雅敏



以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	三田村 雅敏	福祉、経営	H0202033
	②	来間 早苗	福祉	H1501044
	③	高木 みゆき	福祉	H2201066
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	赤坂クリア保育園			
事業所連絡先	〒	107-0052		
	所在地	東京都港区赤坂4丁目9番3号		
	TEL	03-6812-9268		
事業所代表者氏名	園長 塚原 茂美			
契約日	2022年 12月 8日			
利用者調査票配付日(実施日)	2023年 1月 5日			
利用者調査結果報告日	2023年 3月 20日			
自己評価の調査票配付日	2023年 1月 5日			
自己評価結果報告日	2023年 3月 21日			
訪問調査日	2023年 3月 24日			
評価合議日	2023年 3月 24日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	事業者の組織価値観に基づいて組織変革を促進し、独自の強みを発揮できる特徴的な組織として認識されるための課題を確認することを目的に、第三者評価制度の実施を位置づけています。本評価では、事業者の事業特性と事業環境、および組織の状態に基づき導出した、事業競争力の強化につながる重要方針について事業者と評価者とが共有しました。評価者はそれぞれの専門的観点を持って、重要方針に基づく評価の視点を明らかにし、全てのカテゴリーにわたる取り組みとその状態について評価しました。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。

本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2023年 3月 31日

事業者代表者氏名 塚原 茂美

印

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 一人ひとりを見つめる保育の実現 2) 主体的に生きる力を育む保育の実現 3) 仲良しの心、思いやりの心を育てる保育の実現 4) 乳児、幼児の人権に十分に配慮した保育 5) 乳児、幼児の最善の利益を考慮した運営
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報連相がしっかりできる事。 ・協調性がある事。 ・子どもを一番に考えて保育できる事。 ・仕事に対して、責任と自覚を持っている事。 <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの命を預かっているという意識を常に持って職務にあたってほしい。 ・子どもの成長に携わっているという事。(自分の関わりや声掛けが影響するという自覚) ・子どもを一番に考えた環境設定、保育。

調査対象	保育園を利用する園児の保護者世帯を調査対象とし、17世帯から回答を得ました。		
調査方法	登降園時に来園された保護者に、職員が第三者評価の説明とともに、アンケート用紙、返信用封筒を配布しました。回答票は評価機関に直接送信・送付する方法を取り、調査分析を行いました。		
利用者総数	69		
利用者家族総数(世帯)	21		
共通評価項目による調査対象者数	21		
共通評価項目による調査の有効回答者数	17		
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	81.0		

利用者調査全体のコメント

保護者の満足度について、問5. の1項目以外は「はい」の選択率が約80%以上と高く、「問1. 子どもの発達に応じた活動」「問2. 園児の興味を引く活動」「問4. 子どもが自然や社会と関わる機会の確保」「問6. 安全対策」「問7. 参加しやすい行事日程の配慮」「問8. 保育者と保護者の信頼度」「問10. 職員の言葉遣い、態度、服装」「問11. 子どもの健康への職員の配慮」「問13. 園児の気持ちを大切にされた職員対応」「問14. プライバシー保護についての職員対応」「問15. 保育に関する内容説明の分かりやすさ」「問16. 不満や要望に対する職員対応」の項目については、「はい」を選択した方はほぼ全数でした。また、問12. と問17. 以外の項目については「はい(大変満足)」の選択率が約半数を超えているなど、回答者の満足度はとても高いことが見受けられました。

総合満足度について、「満足」の選択率は82.4%(内訳: 大変満足; 47.1%、満足; 35.3%)であったことから、園に対する満足度はとても高いと見受けられます。なお、満足度の高い意見が多数寄せられましたが、改善期待の意見も寄せられたことから、園への期待度も高いことがうかがえます。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	16	0	0	1
利用者調査に回答された17世帯中16世帯(94.1%)の保護者が「はい」を選択しました(大変満足 58.8%、満足 29.4%、やや満足 5.9%)。 「お着替えやトイレなど教えてくれているのでありがたい」旨の回答コメントがありました。回答者のほぼ全てが「はい」を選択したことに加え、約6割が「はい(大変満足)」を選択したことから、回答された保護者の満足度はとても高いことがうかがわれます。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	16	0	1	0
利用者調査に回答された17世帯中16世帯(94.1%)の保護者が「はい」を選択しました(大変満足 58.8%、満足 29.4%、やや満足 5.9%)。 「先生が、工夫して手作りのおもちゃなどを作ってくれて温かみを感じる」「色々、工作とかしてくれているようでありがたい」との回答コメントがありました。回答者のほぼ全てが「はい」を選択したことに加え、約6割が「はい(大変満足)」を選択したことから、回答された保護者の満足度はとても高いことがうかがわれます。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	14	3	0	0
利用者調査に回答された17世帯中14世帯(82.4%)の保護者が「はい」を選択しました(大変満足 58.8%、満足 23.5%)。 「野菜が沢山使われており、離乳食期からそれを食べているので、野菜を好んで食べてくれる」「いつもよく食べているみたいである」旨の満足度の高い回答コメントがありました。回答者の8割超が「はい」を選択したことに加え、6割近くが「はい(大変満足)」を選択したことから、回答された保護者の満足度はとても高いことがうかがわれます。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	17	0	0	0
利用者調査に回答された17世帯全ての保護者が「はい」を選択しました(大変満足 58.8%、満足 35.3%、やや満足 5.9%)。「近くのお寺や交番、消防署などを訪問するなど、社会に関わっていると思う」「色々なところに連れて行ってくれると思う」との回答コメントがありました。回答者の全てが「はい」を選択したことに加え、約6割が「はい(大変満足)」を選択したことから、回答された保護者の満足度はとても高いことがうかがわれます。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	11	2	3	1
利用者調査に回答された17世帯中11世帯(64.7%)の保護者が「はい」を選択しました(大変満足 47.1%、満足 11.8%、やや満足 5.9%)。「標準時間内での変更は柔軟に対応していただいている」との回答コメントが寄せられました。回答者の3分の2近くが「はい」を選択したことに加え、約半数が「はい(大変満足)」を選択したことから、回答者の満足度はかなり高いことがうかがえますが、延長保育の当日申し込みや、キャンセルに関する保護者対応についての改善期待の回答コメントもいくつか寄せられました。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	17	0	0	0
利用者調査に回答された17世帯全ての保護者が「はい」を選択しました(大変満足 47.1%、満足 41.2%、やや満足 11.8%)。「防災訓練で、アレルギーを持っている子がすぐにわかるようにして感心した」「階段があるので心配だが、見てくれていると思う」旨の意見が寄せられました。回答者の全数が「はい」を選択したことに加え、約半数が「はい(大変満足)」を選択したことから、回答された保護者の満足度はとても高いことがうかがわれます。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	16	1	0	0
利用者調査に回答された17世帯中16世帯(94.1%)の保護者が「はい」を選択しました(大変満足 47.1%、満足 41.2%、やや満足 5.9%)。「土曜中心で助かる」「今年、初めてクリスマス発表会があったが、子ども達の頑張る姿が見られて良かった」「先日初めての発表会を行ったが良い日程だった、参観日の日程は普通」との回答コメントが寄せられました。回答者の全数が「はい」を選択したことに加え、約半数が「はい(大変満足)」を選択したことから、回答された保護者の満足度はとても高いことがうかがわれます。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	16	0	1	0
利用者調査に回答された17世帯中16世帯(94.1%)の保護者が「はい」を選択しました(大変満足 58.8%、満足 29.4%、やや満足 5.9%)。「先生方皆さんとても信頼している。相談にも親身に乘ってください、安心して預けられている」などの満足度の高い回答コメントが3~4通あり、虐待の確認方法と対応に関する改善期待の回答コメントも寄せられました。回答者の全数近くが「はい」を選択したことに加え、約半数が「はい(大変満足)」を選択したことから、回答された保護者の満足度はとても高いことがうかがわれます。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	15	1	0	1
利用者調査に回答された17世帯中15世帯(88.2%)の保護者が「はい」を選択しました(大変満足 52.9%、満足 23.5%、やや満足 11.8%)。「きれいに整理されていると思う」「先生が掃除されているのを日々見掛ける」旨のコメントのほか、靴の着脱に関する環境整備や廊下の荷物、清掃具の保清状況の確認についての改善期待の回答コメントが寄せられました。回答者の約9割が「はい」を選択したことに加え、半数以上が「はい(大変満足)」を選択したことから、回答された保護者の満足度はとても高いことがうかがわれます。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	16	1	0	0
利用者調査に回答された17世帯中16世帯(94.1%)の保護者が「はい」を選択しました(大変満足 47.1%、満足 35.3%、やや満足 11.8%)。「既定の服があるようで、いつも清潔な印象を持っている」「若い先生の言葉の選択に考えるところもあるが、適切」などの回答コメントが寄せられました。職員の話し方に関する改善期待の回答コメントもありましたが、回答者のほぼ全数が「はい」を選択したことに加え、約5割が「はい(大変満足)」を選択したことから、回答された保護者の満足度はとても高いことがうかがわれます。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	16	0	0	1
利用者調査に回答された17世帯中16世帯(94.1%)の保護者が「はい」を選択しました(大変満足 52.9%、満足 23.5%、やや満足 17.6%)。 「看護師常駐ではないが、きちんと対応してくださる」「いつもと様子が違う際は口頭で伝えてくれるので、信頼している」「電話した時、園長先生から労いの言葉を掛けてくれる」などの回答コメントが寄せられました。回答者の全数が近く「はい」を選択したことに加え、5割以上が「はい(大変満足)」を選択したことから、回答された保護者の満足度はとても高いことがうかがわれます。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	14	2	0	1
利用者調査に回答された17世帯中14世帯(82.4%)の保護者が「はい」を選択しました(大変満足 35.3%、満足 41.2%、やや満足 5.9%)。 「園長先生中心にベテランの先生がおられるので信頼している」との回答コメントが寄せられました。「今のところ伝えられていないが、あったならば真実を伝えて欲しいと思う」「喧嘩する姿をあまり見たことがない」などの回答コメントもありましたが、回答者の8割以上が「はい」を選択したことから、回答された保護者の満足度はかなり高いことがうかがわれます。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	16	1	0	0
利用者調査に回答された17世帯中16世帯(94.1%)の保護者が「はい」を選択しました(大変満足 52.9%、満足 35.3%、やや満足 5.9%)。 「担任だけでなく、どの先生にもよく懐いている」「いつもと様子が違う際は口頭で伝えてくれるので、信頼している」「電話した時、園長先生から労いの言葉を掛けてくれる」などの回答コメントが寄せられました。回答者のほぼ全数が「はい」を選択したことに加え、5割以上が「はい(大変満足)」を選択したことから、回答された保護者の満足度はとても高いことがうかがわれます。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	16	0	0	1
利用者調査に回答された17世帯中16世帯(94.1%)の保護者が「はい」を選択しました(大変満足 52.9%、満足 35.3%、やや満足 5.9%)。 「守られていると思う」「今まで問題になったことはない」との回答コメントが寄せられました。回答者のほぼ全数が「はい」を選択したことに加え、5割以上が「はい(大変満足)」を選択したことから、回答された保護者の満足度はとても高いことがうかがわれます。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	17	0	0	0
利用者調査に回答された17世帯全ての保護者が「はい」を選択しました(大変満足 52.9%、満足 35.3%、やや満足 11.8%)。 「口頭でも連絡帳でも保育内容をしっかり伝えてくれている」「月初の便りなどで、どんな活動をしているか理解している」「ノートに沢山書いてくれている」との意見が寄せられました。行事の実施に関する改善期待の回答コメントがありましたが、回答者の全数が「はい」を選択したことに加え、半数以上が「はい(大変満足)」を選択したことから、回答された保護者の満足度はとても高いことがうかがわれます。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	16	0	0	1
利用者調査に回答された17世帯中16世帯(94.1%)の保護者が「はい」を選択しました(大変満足 47.1%、満足 41.2%、やや満足 5.9%)。 「要望はきちんと対応して下さっていると思う」「いつも丁寧に対応されている」旨の回答コメントが寄せられました。回答者のほぼ全数が「はい」を選択したことに加え、約5割が「はい(大変満足)」を選択したことから、回答された保護者の満足度はとても高いことがうかがわれます。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	14	1	1	1
利用者調査に回答された17世帯中14世帯(82.4%)の保護者が「はい」を選択しました(大変満足 35.3%、満足 29.4%、やや満足 17.6%)。 「掲示を母親は分かっているが父親は知らないかもしれない」との回答コメントが寄せられました。回答者の8割以上が「はい」を選択したことから、回答された保護者の満足度はかなり高いことがうかがわれます。苦情受付窓口や第三者委員などは、利用開始時等で説明しており、記憶に留めて理解している回答者は8割以上にのぼりました。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目		
1	カテゴリ1		
	リーダーシップと意思決定		
	サブカテゴリ1(1-1)		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している		評点(〇〇)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている		評点(〇〇)
	評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当	
●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当	
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当	
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当	
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えていく	○非該当	
カテゴリ1の講評			
<p>職員・保護者に保育理念や方針などを伝え、園の特性を知っていただく仕組みがあります 保育理念や保育方針、保育目標は、毎年更新して作成される全体的な計画に明示しており、各期の保育指導計画に反映される仕組みがあります。また、法人本部から担当職員が定期的に来園し、必要に応じて職員とのミーティングの場を持ち、法人本部からの伝達事項とともに法人理念やビジョンを伝えています。並びに、入園のしおりに明記されており、入園説明会などで保護者に伝え園への理解を深めていただいています。なお、ホームページにも掲載し、一般の方にも閲覧できるようにし、園の特性を知っていただく仕組みがあります。</p> <p>園が提供している保育への保護者理解の促進に努め、園への信頼を深めています 組織全体の理念やビジョンを明記した全体的な計画を1階の玄関エントランスに掲示し、園への保護者の理解を深めていただくよう図っています。また、保護者会や個人面談などで、園の理念や運営方針に沿った保育を実践していることを伝えています。園としては、保育の実践状況を保護者に直接見て欲しいという思いがありましたが、コロナ禍の影響でできない状況でした。今後は、積極的に訪問していただく意向ですが、今回のように、保護者が訪問できない状況にも対応できるようWEBの活用も考えていますので、その実現に向けた取り組みが期待されます。</p> <p>園の理念を実現する保育の実践に向けて、価値観の統一の強化を図ることが期待されます 保育理念および保育方針、保育目標に基づき全体的な計画や各期の保育計画を策定し、実践に取り組んでいます。今年度の保育目標として、全体的な計画に位置付けられた保育を実践していくことを9つの項目にして明示されています。現状、職員の大半は中途採用であることから、即戦力になる半面、経験知があるだけにさまざまな価値観を持っています。園の理念を実現する保育の実践に向けて、保育者が持っている保育の価値観の統一を図るために、あらゆる手段を視野に入れて強い意志を持って指導されることが望まれます。</p>			

2			カテゴリー2
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行			
サブカテゴリー1(2-1)			
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している		○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している		○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している		○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している		○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している		○非該当
サブカテゴリー2(2-2)			
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している		○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している		○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている		○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している		○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる		○非該当
カテゴリー2の講評			
<p>園を取り巻く状況についての情報収集に努め、サービス改善につなげています</p> <p>登降園時の保護者との会話や連絡ノートのやり取り、個別面談、第三者評価実施時に行われる保護者アンケートなどで保護者の意向の把握に努めています。コロナ禍の影響で、今年度開園以来初めてクリスマス会を行いました。次年度以降は通常に戻し行事後アンケートも行う予定です。また、各種会議や個別面接、日々のミーティングでの意見のやり取り等で職員の意向を把握しており、区からのメール配信や園長会で、地域福祉についての情報収集も行われ、把握した情報を職員間で情報共有し、園を取り巻く状況についての情報収集と改善につなげています。</p> <p>職員が主体となって保育指導計画が策定され、より良い保育の提供につながっています</p> <p>中長期計画に沿って、事業計画と全体的な計画が策定されます。個別面談や降園時の会話の記録などで把握した保護者ニーズの傾向、園内で行われる各種会議やミーティング、区や業界団体の動向などを勘案して、法人本部で策定したフォーマットで事業計画書が作成されています。年間指導計画、月案・週案などの保育指導計画は各クラスの担任が作成し、園長の点検を経て確定し実践するという手順が確立されています。子どもの発達段階や興味関心に合わせた内容の指導計画になるよう努め、より良い保育の提供につながっています。</p> <p>事業計画と保育指導計画が連動していることへの、職員理解を深めることが期待されます</p> <p>事業計画書に位置付けられた各課題の進捗の確認について、年間指導計画や月案に位置付けられる保育に関する課題については、クラス会議や職員会議で月案や週案の振り返りが行われていますが、事業計画との整合性への理解度はあまり高くないことが見受けられます。理念・ビジョンに基づいた中長期計画に沿って事業計画が作られ、全体的および各期の保育指導計画につながり、毎週・毎月振り返りが行われ、その総括として事業報告書にフィードバックされていることについての職員理解を促し、理解を深め実感できる仕組みを構築することが期待されます。</p>			

3 カテゴリー3		
経営における社会的責任		
サブカテゴリー1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリー2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリー3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当

カテゴリ3の講評

職員の倫理観についての理解度が高く、保護者の満足度も高いことが見受けられます

園に勤務している者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)に関する理解を深める取り組みとして、定期的に行われる園内研修や昼礼などで、園長から職員にコンプライアンスに関するレクチャーが行われています。また、法人本部の担当者が来園した際には、職員としてどのような行動が模範となるのかを伝えていきます。職員の理解度も高く、子どもや保護者に対して適切な態度や言葉づかいができているとみられ、今回の第三者評価の受審に伴い実施された保護者アンケートの集計結果からも、保護者の満足度は概ね高いことが見受けられます。

子どもと保護者の権利擁護のための取り組みが、組織的に行われています

相談・苦情解決体制は「入園のしおり(兼、重要事項説明書)」に明記しており、利用開始前の面接時に説明し、園の体制を保護者に伝えています。また、1階の玄関ホールの掲示板に貼り出し、保護者への周知に努めています。虐待防止策と対応については、マニュアルを整備し、着替えの時は全裸にしない、水遊びの際には外部からの視線を遮断するなどの対応がとられています。虐待の事実や疑いのある情報を把握した時には、関係機関に法人本部から連絡するなど、子どもと保護者の権利擁護のための対応を迅速にとる環境を整えています。

施設開放や保育相談等、子育て世帯の養育力向上に貢献する活動が行われています

区が主催する私立保育園の園長会や、区の担当部署からの連絡事項の把握など、地域の福祉ニーズや地域ネットワーク内での共通課題の把握に努めています。また、ボランティアや実習生、小中学校の体験学習の受け入れ体制を整えており、園長が窓口になっています。地域の子育て世帯に向けた地域貢献活動として、見学等で来園された方から子育てに関する相談があれば、子育て相談として対応しており、コロナ禍が収束したことを受けて、地域活動を今後充実させていく意向があります。

カテゴリ4

4 リスクマネジメント

サブカテゴリ1(4-1)

リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

3/5

評価項目1

事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる

評点(○○○●●)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
○あり ●なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
○あり ●なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリ2(4-2)

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

4/4

評価項目1

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

評点(○○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当

カテゴリ4の講評

避難訓練や交通安全指導などを通して、職員や子どもの安全意識の向上が図られています

管轄の消防署の指導のもとで毎月行われている避難訓練や、管轄の警察の指導のもとで実施している不審者対応訓練、保護者も参加する引き取り訓練などを実施しています。また、毎年恒例になっている、所轄の消防署職員が来園し職員を対象として、AEDの取り扱い方および人工呼吸指導が行われています。並びに、幼児を対象に所轄の警察署職員による交通安全指導が行われました。それらの活動を通して、職員は保護責任や危機管理の認識を高め、子どもは自分の身を守るための知識や、他者への配慮および協力の精神も育まれる取り組みが行われています。

法人本部が主導して、文書管理規定や個人情報保護などの情報管理体制を整えています

文書の保管、廃棄については、区が策定している文書管理規定に則っており、個人ファイルや紙媒体で保管すべき書類の内、情報の重要度の高いものについては、事務室の鍵の掛かる保管庫に収納し管理しています。情報管理について、職位によるアクセス権限を設定し、USBは園で用意したもの以外は使用禁止とし、園内の情報の持ち出し厳禁などの規定を設けて順守しています。また、職員は個人情報保護に関する誓約書を採用時に署名捺印し、法人本部宛てに提出しているなど、情報管理体制が整えられています。

事業継続計画の策定は、これからの課題としていしますので、早期の対応が望まれます

地震や洪水などの広域災害、火災や事故など、想定されるリスクに関するマニュアルは法人本部が策定し、事務所に保管し必要に応じていつでも閲覧できる状態にしています。また、リスクが起きた場合の職員配置や連絡方法などを明記した印刷物を事務室に貼り出し、職員周知に努めています。なお、非常食やリュック、ヘルメット、消火器などの備品や避難経路の管理などを受け持つ災害担当を新しく配置し、職員の危機管理意識の喚起を図りました。事業継続計画(PCB)の策定はこれからの課題としていしますので、早期の対応が望まれます。

カテゴリ5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリ1(5-1)

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の標準項目実施状況

10/12

評価項目1

事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当

評価項目2

事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している

評点(●●)

評価	標準項目	
○あり ●なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
○あり ●なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3

事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当

評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況
		3/3

評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリ-5の講評

就業環境の整備などの取り組みにより、働きやすい環境の整備に取り組んでいます
 法人本部が作成したホームページには、子ども一人ひとりを見つめ、主体的に生きる力を育む保育の実現をコンセプトに、職員募集のページが詳細に作り込まれています。職員の採用は法人本部が一括管理しており、ホームページのほかに派遣会社との提携により人員の確保が図られています。なお、各職員の業務経験や能力、本人の希望などを考慮し各クラスの担任の配置を園長によって決定しており、適材適所の配置になるよう努めています。

さまざまな研修を用意することにより、職員の自主性と業務能力の向上が図られています
 保育士の専門性の向上と処遇改善を目的とし、厚生労働省が定めたガイドラインに基づいて実施されているキャリアアップ研修に、受講資格要件を満たした職員の受講を奨励しています。また、自治体の担当部署からの研修案内の連絡も参考にし、希望または指名した職員を参加させ、学んできた研修内容は、職員会議で研修報告が行われます。さらに、園内研修も計画的に実施しており、園長が指名して自由なテーマで研修を行うなど、さまざまな内容の研修を用意することにより、職員の自主性と業務能力の向上が図られています。

キャリアパスを策定し、職員の納得性を高め業務能力の底上げを図ることが期待されます
 法人本部が作成した自己評価シートに各職員が記入したうえで、法人本部職員との個別面接を行い、法人の評価と相違が出ないよう説明します。また、退職金制度の選択制や有給取得の奨励、借り上げ社宅制度の導入など、職員の意欲向上に取り組んできましたが、職員の定着率向上にはつながっていないようです。今後は、就業年数ごとの職員の能力要件(キャリアパス)の策定と周知に努め、客観性のある職員評価と処遇を行うなど、職員の納得性を高め業務能力の底上げを図り、職員間の同僚性を培うことが期待されます。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

「職員の定着率の向上」を課題目標としてあげました。
その課題を抽出した理由・背景として、職員が定着する事で保護者の方々への安心感につながり、また安心いただくことから信頼感へとつながっていくと考えています。その土台があれば、より子どもたちの情報を共有することができ、必然的に当園に適した環境を構築していくことができるとしています。
その具体的な取り組みとして、法人理念の実現に向けた日々の保育実践の内容を充実させました。
取り組み成果としては、子ども一人ひとりの成長に合わせた保育を提供してきたことにより、園が理想とする子どもの成長した姿に沿った成長・発達がみられ、保護者の満足度が上がりました。ねらい通り、職員間で子どもたちの情報を共有することができ、当園に適した環境をより構築されたと思われます。ただし、職員の離職率の減少までには至りませんでした。
振り返りと今後の方向性として、職員の継続雇用について職員一人ひとりにあった対応方法を再度詳細に検討していく必要があり、職員の能力や成長過程を把握し対応していくとのことです。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

子ども一人ひとりを見守りながら主体性を引き出す保育を園の方針とし、日々実践されています。子どもの成長・発達においても満足のいく成果が得られたと思います。当然ながら、職員間で子どもに関する情報共有を密に行われてきましたが、離職率の高さの原因は別のところにあるようです。今後の方向性に修正を加えることは、良い成果を出すために有効な手段といえるので、今後の取り組み成果が期待されます。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

職員の能力向上を課題・目標としました。
その課題を抽出した理由・背景として、子どもの成長・発達に合わせたニーズに対応するため、子どもに関する専門的知識を持って、対応できるように、常に学び続ける必要があります。
具体的な取り組みとして、厚生労働省が定めたガイドラインに基づいて実施されているキャリアアップ研修に、受講資格要件を満たした職員の受講を奨励しています。また、自治体が主催する研修にも希望または指名した職員が参加し、学んできた研修内容は、職員会議で研修報告が行われます。さらに、園内研修も計画的に実施しており、園長が指名して自由なテーマで研修を行いました。
その取り組み結果として、職員の業務能力は確実に上がりました。
振り返りと今後の方向性として、今まで取り組んできた取り組みを継続し、役職者になれる資格取得に努め、次代のリーダーになれる人材の育成に取り組んでいくとしています。

目標の設定と取り組み	<ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った<input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった<input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った<input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)<input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた<input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない<input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

園として研修の仕組みを作り、職員は順調に受講が進みキャリアアップにつながっているようです。研修効果として、保育に関する知識や技術も高まり、より精緻な保育の提供につながっており、保護者の満足度も高いことがうかがわれます。次年度も引き続き取り組まれるとのことですので、その取り組み成果が期待されます。園として喫急に改善すべき課題としては、組織力の強化と職員同士の同僚性の醸成だと考えます。園長が業務上の指示を出しても、批判や非難ととらえ、自身の考え方を押し通す職員が存在し、組織的な秩序が乱れ管理体制が崩れている場面が見られます。今まで話し合いや指導などを重ねてきたとのことですが、あらゆる手段を排除せず、強い意志を持ってリーダーシップを発揮し、風通しの良い組織体制を敷き、チームワークが発揮できる同僚性に富んだ職場環境に整えていくことが期待されます。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
サブカテゴリ1の講評		
<p>ホームページやチラシ、施設見学などを通して、利用予定者の納得度を高めています</p> <p>本部が発信しているホームページでは、建物の外観の写真や入園のしおりが掲載されています。法人の理念は、「いつも一人ひとりの子どもがテーマです」とし、一人ひとりを見つめる保育の実現・主体的に生きる力を育む保育の実現・仲良しの心・思いやりの心を育てる保育の実現としています。施設見学を希望する場合は、一人ひとり施設見学の予定を決めて対応しています。その他、個人的な問い合わせには、メールでもやり取りできる体制の情報も載せています。また、玄関には園のチラシが設置され入手できる様になっています。</p> <p>ホームページでは動画を使って園の活動状況や保育士の紹介もされています</p> <p>当園では、ホームページ上で動画を使用して、園の活動状況を紹介しています。動画では、子どもたちの食事や活動の様子を示すとともに、保育士からの保育に関するメッセージも伝えています。保育内容については、ホームページ内で、乳児クラスではゆったりとした雰囲気の中で、運動や休息を取り、バランスの良い食事を摂り、規則正しい生活習慣を身につけることを基本としています。また、幼児クラスでは、身体的、精神的発達段階を考慮し、年齢別にカリキュラムを計画し、保育を行っていることをわかりやすく説明しています。</p> <p>港区の保育園入園申し込みの案内や空き情報でも確認することができます</p> <p>港区が提供する「保育園入園のご案内」には、総合支所、区民課、保健福祉係で受け付けていることや、保育園入園までの流れに関する詳細な情報が記載されています。当園は、生後57日から入所が可能であり、各年齢ごとに受け入れ可能な人数も具体的に示されているため、利用年齢に応じた情報を行政の案内からも確認できます。また、保育施設の利用申請には、従来の郵送による手続きに加えて、マイナンバーカードを使用した電子申請も可能であることなども案内されています。</p>		

サブカテゴリ-2		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当
サブカテゴリ-2の講評			
<p>入園時の面接時に、事前に郵送した資料を元に園長が面接を行い、情報共有しています</p> <p>入園時の面談では、食事面、生活面、健康面と家庭の状況について園長と面談し、児童票を作成しています。医療的な配慮が必要な場合は、医師からの情報を書面で提出していただいています。また、配慮が必要な園児については、行政との連携のために丁寧に面接を行っています。土曜保育や延長保育の利用についての確認、保育園のルール、入園に必要なものや物の準備についても丁寧に説明しています。さらに、各年齢ごとの保育内容の実施状況についても説明し、利用者が納得できるような配慮を行っています。</p> <p>利用開始後は、子どもの状態を優先し、ストレスがかからないよう配慮しています</p> <p>児童が新しい環境になれることを第一と考えて、各クラスの担任と保護者が情報を共有して少しずつ保育時間を延ばしていくように配慮しています。保育士は、子どもと1対1で向き合います。保護者の使っている抱っこ紐を預かり、散歩に出かけたりします。午前中だけの利用から始めて、信頼関係を構築することを目指し、子どもの状況は、保護者と共有します。また、昼食の摂食状況をふまえ昼礼時に職員間で情報交換をしており、その期間は、短くても1週間、保護者にとって保育開始までの時間的余裕がある場合には1か月程かけて慣らし保育をしています。</p> <p>早朝保育や延長保育、土曜保育など、保護者の事情を鑑み利用できる仕組みがあります</p> <p>入園時の面談で、保護者が仕事や生活に対応しやすくするために早朝保育は、朝7時15分から9時まで、延長保育は17時から18時15分まで行っています。延長保育の場合は、子どもへ補食を提供してストレスにならないよう配慮しています。また、突発的な希望の場合は、昼礼で職員全体に情報共有を図り、保護者への伝達事項に漏れが無いかなどを確認して伝達メモに記録し、降園時に1日の状況の報告ができるようにしています。これらの情報については、専用の記録用紙を作成し見やすくわかりやすく、児童票に記入し管理しています。</p>			

サブカテゴリ-3		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	12/12
3	個別状況の記録と計画策定		
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		○非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している		○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している		○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている		○非該当
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある		○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している		○非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している		○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している		○非該当
サブカテゴリ-3の講評			
保育士は半年に一回、計画の実施状況の確認のためにセルフチェックをしています 年間指導計画を基に、日案、週案、月案を作成し園長のチェックと指導の元を実施されています。子ども一人ひとりの様子については、保育日誌に丁寧に記載され成長の様子が具体的に書かれています。日々の様子については、昼令の時間を活用して職員全体で共有し記録に残し、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即し、見直しが必要になった時にその記録を確認し判断するための情報の一つとしています。これらについて、保育士は、指導計画の中で立てた、保育のねらい、実践内容、配慮事項について半年に1回セルフチェックをしています。			
登降園時に、保護者一人ひとりに丁寧に对应するよう取り組み実践しています 登園時には、保護者に丁寧に寄り添い、子どもも保護者も安心感を持つことができるように配慮しています。引継ぎ事項を正確に聞きとるために、大切なことはメモをとり簡潔にわかりやすく記録に残しています。また、顔色や機嫌、皮膚、呼吸の様子、体温など、異常の有無をチェックしています。降園時には、身体状況や1日で伝えるべきことなど、担任以外でも漏れの無いよう伝えることができるよう、引継ぎノートを活用し情報共有をしています。担任をはじめ担任以外でも丁寧にいかかわっている姿勢に対して保護者から高い評価が得られています。			

サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得ようとしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当	
サブカテゴリ-5の講評			
<p>ホームページは、個人情報保護の観点から関係者以外アクセスできないようにしています</p> <p>個人情報については、園での生活に必要な範囲を個人面談で聞き取りをして書類を作成し、事務室の書庫に保管しています。個人の写真を外部とやり取りする場合には、保護者の同意を得ています。園のホームページでクラスごとの様子を紹介していますが、個人情報の保護の観点から関係者のみがアクセスできるように制限を掛けており、個人のプライバシーについて慎重に対応する体制が構築されています。</p> <p>家庭の価値観を面談時に聞き取り、園での生活も習慣を配慮した対応をしています</p> <p>入園時には保護者面談を行い、子ども一人ひとりを尊重する保育の実践に向けて、保護者から必要な情報を聞き取り児童票に記録しています。宗教的な食生活の習慣がある世帯の子どもへの配慮として、宗教食として避けるべきものや代用できるものを確認しています。また、食材のエキスにも注意を払い、必要に応じて調味料で対応しています。保護者の希望や要望を十分把握し、子どもたちの健康と安全を守っています。</p> <p>保育士に、虐待防止や育児困難の根拠を浸透させるために、勉強会を実施しています</p> <p>子どもの生命や情緒の安定を図るために、月に1回の研修や昼礼で勉強し、保育のスキルアップを図っています。乳幼児は身近な存在に認められ、共感しあうことで自己肯定感が育まれる時期です。その大切な時期に関わる保育者としての職員には、子どもの人格を尊重し、強制的・脅迫的・暴力的な関わり方や、無視・放置・差別などの問題行動を避けるように、認識を深める研修を実施しています。</p>			

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当	
サブカテゴリ-6の講評			
<p>マニュアルの活用と自発的更新を促し、職員の意識と主体性を高めることが期待されます</p> <p>子どもたちの安全を確保するために、防犯・防災・事故・緊急時の対応・保健衛生管理・プール等備品のマニュアルが作成され、定期的に見直しが行われています。しかし、マニュアルの活用や周知が十分でなく、リスクの高い活動に関する懸念が残っています。マニュアルは、保育士としての責任や保育方針、手順などを確認するためのものです。そのため、マニュアルの活用方法を全職員に伝える工夫が必要です。また、マニュアルと実践とのずれを感じた場合、自発的にマニュアルの更新に取り組むなど、職員の主体性と意識を高めることが期待されます。</p> <p>保育の実践内容について、保護者からの意見を反映させる仕組みの構築が期待されます</p> <p>各種会議や昼礼、ミーティングなどで職員からの意見を参考にするとともに、園長が子どもたちの状況に応じて保育内容や行事を決めています。今年度は、コロナ禍が収束しつつあることから、保護者の参観を含むさまざまな行事を実施しました。園の今後の方向性としては、保護者の意見を反映させるために行事後のアンケートを実施する予定です。サービスの透明性を高めるために、保護者からのフィードバックを受け入れる方法を検討し、保育の質の向上に取り組んでいくことが期待されます。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

		サブカテゴリ4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
		35 / 35	
1	評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている	評点(000000)	
	評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目1の講評			
<p>言葉がけや誘導の仕方を工夫し、子どもの意欲が高まるような援助を実践しています</p> <p>園が大切にしている「子どもの心を大切にす言葉かけ」を浸透できるよう、毎月職員会議で、職員としての姿勢や保育目標を確認し、子どもたちへの適切な言葉かけや援助方法を確認し合っています。また、子どもたちが意欲を持って、自分から取り組めるよう言葉かけを工夫しています。例えば、散歩後、靴と靴下を脱いだ子どもたちが迷わないよう、子どもの動線で配置し、「靴下のお家ですよ」等の言葉かけをし、給食の配膳の際には「おいしそう」等の言葉を添え、子どもたちが自分から意欲的に食べたいと思うような援助を実践しています。</p> <p>異年齢児との交流の機会を設け、相互に育ち合い思いやる気持ちを育んでいます</p> <p>朝夕の延長保育時間のほかに戸外活動でも異年齢保育を実施しており、乳児・幼児クラスの交流を盛んに行っています。子どもが相互に教え合い、学び合い、育ち合い「人と関わる力」が育まれるように、室内の環境作りや言葉かけを工夫しています。乳児と一緒に過ごしても危険がないように、また、幼児が物足りなさを感じないように空間を仕切りながら環境構成を工夫しているなど、異年齢の子ども同士の関わりの中で、自然にお互いを思いやる気持ちを育んでいます。なお、0歳児クラスは発達や成長の個人差に応じて前期・後期に分けて対応しています。</p> <p>一人ひとりを大切に考え、柔軟な対応で子どもの成長発達を見守っています</p> <p>一人ひとりの子どもの発達過程や生活環境は、入園時の面談や送迎時の会話、連絡帳で全体的な姿を把握しています。職員は、児童票や昼礼、クラス会議で子どもの状態を日々共有しており、その時々合った柔軟な言葉かけや援助で対応するよう努めています。また、特別に配慮が必要な子どもや、文化や生活習慣の違いのある子どもたちが安心して過ごせるように、日々の生活の中でお互いが違いを意識することなく、共に成長できるような支援に取り組んでいます。必要に応じて個別の面談を行い、保護者の安心感に繋げています。</p>			

2 評価項目2

子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当

評価項目2の講評

送迎の際には保護者と会話や連絡帳で、一人ひとりの様子を確認し伝えています

登園時の受け入れでは、子どもを視診すると共に、保護者との会話や連絡帳で子どもの様子や健康状態などを丁寧に確認しています。受け入れをした職員は、保護者からの伝達を「登降園表」へ記入し、口頭は勿論、昼礼でもクラス職員全員が内容を確認して、伝達事項の漏れがないように努めています。また、降園時には、その日にあった出来事や子どもの様子など、口頭で丁寧に伝えるように努めています。乳児は連絡帳も活用していますが、保護者と直接会話でのコミュニケーションを大切にしています。

一人ひとりに合わせた柔軟な対応や言葉かけで、子どもの意欲向上につなげています

一人ひとりの発達を、子どもの様子や「児童票」で把握し、子どもの現在の姿に合わせ、柔軟な対応を行うように心がけています。食事や排泄、着替え、睡眠などの基本的な生活習慣の大切さを伝えた上で、子どもが意欲的に取り組めるように、一人ひとりに合わせた言葉かけや援助をするように努めています。特に、離乳食やトイレトレーニングなどは個人差が大きい為、言葉かけのタイミングや言葉選びにも留意しています。また、保護者との連絡を密にし、家庭と連携しながら個別に無理なく進めていくことで、子どもの意欲向上につながっています。

生活リズムや、体調、年齢、発達に応じて休息が取れる環境作りに配慮しています

午睡の際には、家庭での今までの生活リズムを考慮しながら午睡時間を調整し、少しずつ園での生活に慣れるように配慮しています。なかなか寝付けない場合や眠りが浅い場合には、子守歌を歌ったり、側に寄り添い優しくなでるなど、子どもの安心感や入眠しやすくなるよう環境を作り、個別に対応しています。睡眠、食事、遊びなど一日を通した生活リズムを整えることは、心身の健康づくりの基礎となるため、家庭との連携を大切にして、午睡時の様子は降園時に口頭や連絡帳で保護者と共有するように努めています。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

子どもが自ら遊びこめるように、室内の環境を整え言葉かけや援助を工夫しています

乳児の室内は、照明も球体のものを使用しており、色味が柔らかく子どもが安心して過ごせるような暖かみがあります。玩具は子どもが自由に手に取れるよう配慮しており、広いスペースを自由に動けるよう、またケガ防止のためコーナーは少なめにしています。幼児の室内は、広々とした空間をコーナーで仕切り、ブロックやお絵かきなど思い思いに遊び込めるような環境構成にしています。子どもが遊びに集中している際には職員は見守ることを心がけており、子ども同士の関わりや、自らやりたい気持ちを大切に考え、主体性を育む保育が提供されています。

戸外活動を楽しむ中で、自然に触れ季節の移り変わりを感じる機会を大切にしています

都心ながら近隣には様々な公園があり、天気の良い日は毎日散歩や戸外活動に出かけています。公園の中を散策しながら、子どもが外の空気や花など自然に目が向くような声かけを心がけ、季節を感じながら存分に身体を動かしています。散歩中には交通ルール、公共の場での約束、近隣の方への挨拶、また公園では固定遊具の使い方やきまりなども、日々の戸外活動の中で自然と身につけていく一面がみられます。散歩のコースや横断歩道、公園での危険箇所は、「お散歩マップ」を作成ファイルングしており、職員全員で共有し、安全管理に活かしています。

日々の保育活動や季節の製作などによって、豊かな創造力や感性を育てています

子どもの年齢や発達に合わせて、毎月季節の製作や歌、リズム遊び、体操などで子どもが自由に表現できる機会を設けています。毎月の製作は、職員が計画に沿ってテーマやねらいを決めていますが、子どもたちの「自由な発想力や想像力に合わせて柔軟に対応すること」や「手を貸しすぎないこと」を心がけています。体操やリトミックの際には、幼児クラスを広い空間へと変えて、安全に配慮し、子どもたちが思い思いに身体を動かして表現できるような環境構成の工夫をしています。

4 評価項目4

日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目4の講評

子どもたちが皆で協力し、楽しさや達成感を感じ取ることを大切にしています

七夕や節分、ひなまつりなどの季節を感じる伝統行事は、行事を行う前に年齢に合わせて絵本や紙芝居などで、行事の意味を子どもたちが理解できるように伝えています。また、行事の際には栄養士と連携し、行事食や、おやつを提供を行い、子どもの興味や関心が高まるような工夫をしています。行事を行う際には、子どもたちの意見を出し合う時間を設け、子どもの発想を取り入れて意欲的に取り組めるように工夫しています。子どもたちが、共通の目標に向かってお友達との関わり方や、やり遂げることへの達成感を感じ取ることを大切にしています。

行事参加や参観によって、子どもの成長を共有し保護者の理解を高める工夫をしています

「日々の保育の連続性の中で、子どもたちの感性や情緒を育むこと」を園の行事目標としています。今年度の保護者参加型の行事として、夏祭り、運動会ごっこ、クリスマス発表会などを実施しました。保育参観は、1週間の期間を設けて、保護者の都合に合わせて行いました。子どもの普段の様子を見る保育参観や行事への参加によって、保護者との理解や協力を深めました。また、子どもの成長を保護者と共有できるように、来年度は保護者参加の行事を増やす予定です。

子どもの「育ちや学び」を保護者と共有できる行事への取り組みを行っています

園での行事は子どもを中心と考え、様々な伝統行事やイベント行事を行っています。例えば、お誕生日会は、「大きくなる事への喜びを感じ、友達をお祝いして思いやりを育むこと」、伝統行事は「昔からの日本の行事を遊びを通じて、文化に触れることや受け継いでいくこと」を目的に行われています。七夕や、ひな祭り等の季節の行事の際には、玄関に全クラスの子どもの作品を吊るし飾りにして飾っており、保護者も行事への興味関心を持ち、家庭での会話のきっかけにもなっています。保護者と一緒に、子どもの成長を感じる気持ちを大切にしています。

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている		○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている		○非該当
評価項目5の講評			
<p>子どもが安心して落ち着いて過ごせるよう、言葉かけや関わりに配慮しています</p> <p>延長時間帯は異年齢保育を行っています。日々の保育活動でも異年齢での交流が頻繁に行われているため、担任以外の職員と、子どもたちは関わりが多く、安心して過ごせる環境が整っています。また、子どもの体調や情緒面での配慮として、眠い子どもには寝具を用意したり、不安になってしまう子どもに対してはスキンシップを多く取るなど、安心して過ごせるような言葉かけや関わりを心がけています。さらに、乳幼児が同じ空間で過ごす際には、危険な箇所を見直し、双方が安全に過ごせるような環境作りに努めています。</p> <p>玩具や環境に変化を持たせ、子どもが楽しく過ごせるように工夫をしています</p> <p>通常保育時間以外に、保護者の就労などの相談に応じて延長保育を実施しています。延長時間帯は、普段からの異年齢保育の効果もあり子ども同士は自然に交流しています。また、延長時間に応じて補食の提供も行っており保護者の満足度にも繋がっています。延長時間帯は、楽しくのんびり過ごせるように音楽を流したり、園児数や年齢に応じて、特別な玩具を出すことで変化をつけ、子どもたちが飽きずに楽しく過ごせるように工夫しています。子どもの様子や保護者からの連絡は、連絡伝達表で共有しており保護者の安心感にも繋がっています。</p>			
6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している		○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている		○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している		○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている		○非該当
評価項目6の講評			
<p>栄養士が中心となり、さまざまな食育活動に取り組み、食への興味歓心につなげています</p> <p>栄養士が中心となり、様々な経験を通じて「食」に関する知識や「食」を選択する力を身につける基礎を培うために、食育計画を立てて実践しています。今年度は、幼児が少なかったため、本格的なクッキングは実践できませんでしたが、年齢や発達に応じて「タマネギの皮むき」「キャベツちぎり」「キノコを裂く」「煮汁作り」など、工夫を凝らして、食育活動に取り組んでいます。栄養士は、食事を通じて「食べる意欲」や「感謝の気持ち」を育てていきたいと考え、自分たちがお手伝いした給食はおいしさも格別と感じてもらえるよう、活動をしています。</p> <p>子どもの個々の状況に応じて、安心安全な給食の提供に努めています</p> <p>入園前の面談で、家庭での生活状況や食物アレルギーの有無、入園までに家庭で食べてきてほしいものなどを丁寧に説明し、安全で安心な食事の提供に努めています。アレルギーのある子どもの食事提供は、園長、栄養士、担任でトリプルチェックを行い、人的ミスのないように留意しています。また、栄養士は子どもの食事の様子を、食べる量や好みの傾向、食具の使用方法など、様々な視点から観察しており、毎月の給食会議、アレルギー会議、離乳食会議で食についての話し合いを重ね、献立の振り返りや調理についての課題を共有し今後の活動に繋げています。</p> <p>季節感を大切に、様々な食文化の体験ができるような取り組みが行われています</p> <p>法人の献立では、卵、牛乳を使用しない献立になっており季節感を大切に作成されています。栄養士は自園の子どもの状況に合わせて、献立をアレンジして提供しており、行事食や郷土料理を取り入れ、さまざまな食文化の体験ができるような機会を設けています。例えば、ひな祭り際には、おやつに3色の蒸しパンが提供されました。また、乳児が多いため離乳食の進み方も発達状況に応じて固さや大きさを工夫し提供するなどの配慮を行っています。次年度にはSNSを通じて、栄養士から保護者や利用希望者へ「食」について発信をしていく計画があります。</p>			

7	<p>評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している</p> <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>	
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>嘱託医との良好な連携のもとで、子どもたちの健康管理を行っています</p> <p>嘱託医との連絡を密にして、良好な連携を図っています。健康診断は、0歳児は月に2回、1歳児・2歳児は月に1回、幼児は半年に1回、歯科検診は年に1回、行っています。検診の結果は、健康カードに記入して、保護者にも知らせて共有しています。保育園で、発疹など職員だけでは判断が難しい場合には、嘱託医に相談し判断、指示を仰いでおり、いざという時にスムーズに対応できるような体制を整えています。また、職員は、消防署による「救命講習会」や、園内研修では「嘔吐処理研修」を行い、技術や意識の向上に努めています。</p> <p>保護者と情報を共有することで、保健、健康に関する意識を高めています</p> <p>感染症が流行しているときは、速やかに掲示やほけん便りで保護者に知らせています。乳児突然死症候群の予防に、仰向け寝を徹底し、乳児は5分に1回、幼児は10分に1回の午睡チェックを欠かさずに行い、記録し予防に努めています。また、行政の子育て相談や、子育てに関する情報を入りに掲示して、保護者に知らせています。園や保健所、行政からの情報を共有する事で、保護者の健康や保健に関する意識の向上に繋がっています。</p> <p>子ども自身が健康や安全について、自発的に関心を持てるように取り組んでいます</p> <p>保育活動の中で、水分補給、手洗い、鼻のかみ方、衣服の調整など、子どもが自分で考え行動できるよう言葉かけや援助を心がけています。事故防止に向けて、ケガをすると痛いこと、玩具を片付けないと危ないこと、廊下や室内で走るとつまずきや衝突でケガに繋がること、体調が悪い時は大人に伝えることの重要性など、言葉かけや絵本の読み聞かせなどで伝えていきます。乳児クラスでも、毎日の習慣を繰り返すことで、子どもが自分の健康や安全について、自発的に関心を持ち行動できるような取り組みを、園全体で行っています。</p>		
8	<p>評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている</p> <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇〇)</p>	
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>保護者一人ひとりの意向や、家庭状況に配慮した支援を行うよう努めています</p> <p>園では、保護者の子育てについての悩みや相談、子育ての考え方についてお互いの理解を深める為に、個人面談を設けています。個人面談は、保護者の希望や必要に応じて随時行っていますが、送迎の際、いつもと違う雰囲気や、保護者が悩んでいる様子を見かけた場合には、園側から言葉かけをして、面談のきっかけを作ることもあります。面談の際には、傾聴する姿勢を大切にして、保護者に寄り添った丁寧な対応を心がけ、保護者支援に繋がっています。</p> <p>園と保護者、保護者同士の信頼関係を育み、深めるための取り組みが行われています</p> <p>保護者同士が交流できるように、年に2回保護者会を開催しています。園と保護者、また保護者同士の交流が深まることで、保育園で生活している子どもたちの共通の認識ができるとともに、信頼関係が育まれています。感染症の影響もあり、今年度はなかなか保護者同士が交流を持ってない中、和やかな雰囲気で開催することに、職員は配慮しています。保護者会では、保護者同士の交流を深めることや、園に通う子どもたちがより楽しく過ごせるように、園と保護者が協力体制を整える場として、取り組みを行っています。</p> <p>保護者参観や保育活動への参加で、子どもの成長発達の共有につながっています</p> <p>保護者と子どもの成長発達の共通の認識を図るために、保護者会では現在の子どもの姿を伝えたり、お便りや連絡帳で、日常の子どもの様子や具体的な活動場面を紹介しています。年に2回の保護者参観では、普段遊んでいる子どもたちの様子やお友達との関わり、活動を見てもらう事で、保護者の子どもへの発達理解に繋がっています。また、夏祭りや運動会ごっこでは、実際に保育活動に参加していただくことで、保護者が子どもたちと直接ふれあう機会を大切に考え、保護者の養育力を高める大切な機会としても捉えています。</p>		

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>地域資源を活用し戸外活動の充実を図るとともに、子どもの生活の幅を広げています</p> <p>地域には緑豊かな公園や神社、商業施設などがあり、日々の散歩中に交わす地域の方々との挨拶を大切にしています。地域柄、交通量が多く道路を横断することもあるため、子どもたちが安全に戸外活動に行けるように、「散歩事故防止チェック表」や「お散歩マップ」を活用しています。勤労感謝の日には、警察署や消防署にプレゼントを届けに行きました。感染症の影響で地域との交流が難しい中でも、できる限り工夫をしながら子どもたちが地域との関わりを増やせるような取り組みを実施し、子どもの生活の幅を広げるように努めています。</p> <p>地域資源を活用した安全指導を行い、職員や子どもの意識向上に努めています</p> <p>園では消防署による職員向けの「救命講習会」を行い、心肺蘇生やAEDの使用方法等、安全管理の訓練を行っています。また、園内研修で嘔吐処理の実践をするなど、日々の保育活動で大切な「子どもの健康や安全」について、定期的な訓練を取り入れる事で、職員の安全管理の意識向上に努めています。また、子どもたちは、警察署や消防署で実際の消防車を間近で見ることや、警察官、消防士との交流を通じて自ら体験することで、安全について自主的に学び考えられるよう、取り組みを行っています。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル①	年齢や発達に合わせた食育活動の展開により、子どもの食への興味歓心を深めています	
内容①	法人の献立は、自園に合うように栄養士がアレンジして提供しています。栄養士が中心となり、年齢や発達に合わせた年間食育計画を作成し、様々な食育活動に取り組んでいます。今年度は幼児が少ないため、給食に使う食材を、「キャベツちぎり」「タマネギの皮むき」「きのこを裂く」「煮汁作り」等、乳児クラスでもできる活動を、工夫して取り入れています。また、担任と連携して、「野菜スタンプ」を作るなど食材に触れてもらう機会を多く設けています。子どもたちは自分で体験することで、よりいっそう食への興味歓心が深まっています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目		
タイトル②		
内容②		

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目		
タイトル③		
内容③		

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	法人理念や園の保育方針に沿った保育サービスが提供され、子どもたちの健やかな成長・発達と、保護者の満足度の向上につながっています
	内容	子ども一人ひとりを見つめ、主体的に生きる力を育み、調和と思いやりの心を育てる保育を園の保育目標として掲げ、子どもの人権に十分配慮し子どもの最善の利益を考慮した保育が、日々提供されています。乳児は独自の育児担当制を採用し、生活基盤の確立とおとなとの愛着、信頼関係を強固に築き、幼児は恵まれた資質・能力を踏まえ、「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」を反映した保育が実践されています。保育実践力を常に磨き、計画に沿って子どもたちにサービス提供される仕組みが構築され、保護者の満足度の向上につながっています。
2	タイトル	地域資源を活用した戸外活動や遊びを通して、子どもの生活の幅を広げ、これからの自分の未来へ向けて、主体的に生きる力を育てています
	内容	職員は、地域の公園や公共施設等の「おさんぽマップ」をファイリングして全員で共有し活用しています。施設の写真や公園の写真、行き帰りのルートや信号、固定遊具の状況、トイレの場所、砂場、危険な箇所など、写真と共にコメント付きで詳しくまとめてあります。全員で共有する事で、子どもの安心安全な活動や、戸外活動の充実に繋がっています。また、日々の戸外活動を通じて、交通ルールや公共の場でのマナー、地域の方への挨拶等、子どもが生きていくために必要な力を、遊びを通じ自然に学ぶ機会を設け育てています。
3	タイトル	職員の主体性を伸ばす取り組みを行っており、意思の尊重に配慮しながら、やる気や信頼度を高め、定着率の向上につながるよう努めています
	内容	園長が指名した職員がテーマを考えて行う園内研修を、毎月の職員会議後に保育の質を高めるために行われます。研修の内容は係の職員がレポートにまとめ、いつでも閲覧できるよう保管されます。この取り組みにより文章力が養われ、保護者との連絡帳や保育記録、保育計画の作成などにも役立っています。また、職員の意思の尊重に特に配慮しています。意見や相談をしやすい雰囲気を作り、提案があればまずは感謝の言葉をかけます。これにより、職員のやる気や管理者への信頼度を高め、定着率の向上につながっています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	キャリアパス制度を導入するなど、職員評価を明確にし公平化を図り、職員のモチベーションの向上につなげることが期待されます
	内容	職員の業務能力査定については、園長と法人本部の担当者が話し合い、職員の能力などに応じて昇給や昇格が決定されます。その仕組みについて職員の理解が得られにくく、不公平感を感じる可能性もあることから、職員の目的意識を明確化し「あるべき姿」を自覚できるようにすることが期待されます。例えばキャリアパス制度を導入し職員評価の明確化と公平性を図るなど、職員が「あるべき姿」を自覚し、目的意識やモチベーションの向上につなげることが期待されます。
2	タイトル	マニュアルを汎用性の高いものとして活用し、統一的で質の高い保育サービスを常に提供できる体制に整えることが期待されます
	内容	熱性けいれんやてんかん、さまざまな種類のアレルギーへの対応など、健康上配慮すべき留意点や緊急事態への対応など、持病のある子どもや気になる子どもへの対応について、決められた手順通り正確に援助することが求められます。そのため、マニュアルお共有し活用することで、担当職員は速やかに冷静に判断・行動できることにつながります。マニュアルの見直しを行った時は、職員に十分周知することが望まれます。また、マニュアルを汎用性の高いものとして活用し、統一的で質の高い保育サービスを常に提供できる体制に整えることが期待されます。
3	タイトル	事業継続計画(BCP)の重要性の理解を深め、作成に向けて計画を立てることが期待されます
	内容	自然災害や感染症、大規模な事故など、不測の事態への備えとして重視されているのが、事業継続計画(BCP)であり、策定が必須となりつつあります。園では、感染症や災害などのリスクマネジメントに関するマニュアルを整備し、避難訓練の実施などを毎月行い、AEDの取り扱い方や人工呼吸の練習、子ども向けに交通安全講習などが行われています。事業継続計画(BCP)は、生命・財産などを確保したうえで、事業を早期復旧し、平常時と同じように継続していくことが最大の目的です。まずは、作成に向けて計画を立てることが期待されます。